



今月の表紙は、水田で泥んこ遊びを楽しむ園児たちが綱引きをおこなっている様子です。
最初は、ヌルヌルした泥の感触に「うおー」「きゃー」と大きな声が上がっていました。しばらくすると、「温泉たよ」と泥のお風呂につかる子も。みんなで楽しみました。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場企画政策課広報広聴G
E-mail:kikakujocho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線334)
FAX63-5139

こたの民話

おうごん ばい じゅ 「黄金三杯 朱三杯」

大草の山寺の浄土寺、行ってみたことがあるかい。こんな山の中に、こんなにっぱなお寺があるのかと、きっとびっくりすることだろう。

それもそのはず、この浄土寺は、鎌倉のむかしからの古いゆいしよあるお寺なんだ。

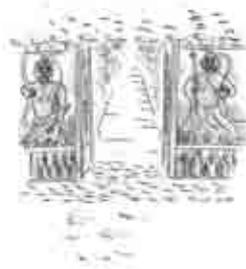
そのころ、この辺りには、西の坊、南城坊、元坊、向坊、赤井坊、道正坊、教信坊と、七つものお寺があったそうだ。朝な夕なに、方々のお寺から鐘が鳴り、お経の声が響いていたそうだ。浄土寺は、この南城坊の跡なんだ。

この浄土寺の山門に、口をかつと開いている仁王さんと、口をぎゅっと結んでいる仁王さんが立っておられる。どちらもぼろぼろで、今にもくずれそうになっておられる。それというのも、戦さ続きの世の中だったころ、仁王さ

んが兵火に焼かれるのを心配した村の人々が、大草の川の中にうずめて、難をのがれたからなんだということだ。

この仁王さんの体の中に、「朝日さす 夕日さす 杉の根元に 黄金三杯 朱が三杯」と書かれている、宝のありかを示す紙が入っておるそうだ。

そこは大草のどこだか分からないが、そこには、黄金がどっさりうめられているということだ。



【こたの民話 より】

みんなの作品展!

平成26年度 春の文化展
全国和紙ちぎり絵からのセレクトです



いわせ
岩瀬 かすみ さん



やまもと あさこ
山本 朝子 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課広報広聴Gまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで。)

「手車」

7月、夏祭りが各地で行われます。幸田町では「彦左まつり」ですが、待ちわびる子どもたちの姿に、遠い過去の自分を見つけたおじいちゃん……
「おとつぁんにてんぐるましてむらったおべがあるわ。ほんなんえつらい人で、前も後ろもどっこも見えーへんもんだん」

「お父さんに肩車をしてもらった記憶があるよ。それはものすごい人混みで、前も後ろもどっこも見えないものだから」という意味です。

この「てんぐるま」は、肩車の意味で広く使われていますが、「手車(てぐるま)」が転じたものだと思います。「手車」とは、要するに手押し車のこと、絵巻物に登場する、平安貴族が参内のときにどに使用した乗り物「輦車(れんしゃ)」もこう呼ばれました。

この「手車」がのちに、二人が両手を差し違えに組み合わせ、その上に別の人を乗せて歩く遊びもいうようになったのですが、どうして手ではなく肩に乗せても「てぐるま」「てんぐるま」というようになったのか、肝心なところが実はよくわかっていないのです。

(文・こたか)



青春トークリレー
第256走者

まつもと あいか
松元 愛佳 さん

大草区在住 20歳
職業 社会人
身長 155cm 血液型 B型
好きなタイプ 秘密
好きな芸能人 秘密

私は3月で短期大学を卒業して、社会人として新しい一歩を踏み出しました。2年間の学生生活は毎日、本当に楽しく過ごすことができました。

そして、小学生の頃からの夢だった保育士になることができるとてもうれしいです。難しいと感じる時や、大変だなと思う時がまだまだあります。ですが、自分らしく笑顔で元気いっぱい頑張っていきます！

相見駅ができてから、周りにたくさんの方が建ちました。町がどんどん明るくにぎやかになっていきます。自然を大切にしながら、明るさと静かさのある幸田町になってほしいと思います。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



わんぱくどより

「某月某日
大草保育園」

なまこ
筍みつけた。

大草保育園では、地域の方からの誘いで、毎年筍掘りを体験している。

「でっかい。もつと掘ろう。」
小さな頭を並べて、何人かでスコップを使い、筍掘りをするが簡単には掘れない。

「駄目だ。俺蹴ってみる。」
(足裏で筍を蹴る。)

「曲がってきた。あとちょっとだ。」

「引っ張ってみようか。」
「ちょっと代わって！俺が



「もう、俺三個も掘った。」
と保育士に誇らしげに話す
子もいる。園に帰りながら、
「筍、どうやって食べる？」

やってみる。」
一つの筍を何人もの子が考えを出し合い試行錯誤してやっこのことで掘り出した。

「ヤッター。掘れたー！」

掘り上げて大喜び。そしてまた次の筍を探し始める。

と聞いてみる。

「筍ご飯。」筍のお味噌汁。」

早速、筍ご飯に挑戦。

竹を切り、鍋作り。

お米を洗い、薪集め。

団扇で火起こし。

湯気が出てきてご飯が炊ける匂いがした。

「ちょっとおこげつきの筍ご飯。みんなでアツアツを食べた。美味しかったね。」



ちよと
編集者のひびく

▼いよいよ暑さ本番ということで、今月の広報では熱中症予防について、消防署から情報提供が掲載されています。暑さ対策やこまめな水分補給を心掛けて、夏を乗り切りましょう。

先日、小学校のプール開きにお邪魔してきました。暑い日が続いているとはいえ、水温はまだ低く、足を付けるだけで震えあがりそうでしたが、子どもたちは元気に水の中へ飛び込んでいました。そして、保育園では川遊びが最盛期。園から網を持ってきて、ぐいぐい川の中を進み、生物を捕まえる子どもたちのアグレッシブさにびっくり。子どもたちから水をかけられて、これまたびっくり。すっかり遊ばれてしまいました。今月の広報では外来生物についての特集をしました。普段から生物多様性をテーマに取り組んでいる環境課の協力で、実際に幸田の川に行き、カメラやカダヤシの生息状況を目の当たりにしました。その中で在来種にも出会うことができ、発見したときの喜びはひとしおでした。インガメくんのつづらな瞳と優しい顔つきにうっとり。みなさんもぜひ、インガメくんに出会ってください。

しかしながら、今年の夏はなんと言っても、サッカーブラジルW杯でしょう。この広報がみなさんのお手元に届くころには日本代表が予選突破して、初優勝！を本田選手が本気で信じ努力する姿に心動かされる今日この頃であります。がんばれ日本！